連載「淀江プロジェクト」物語［第十四話］

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第14話：ここはどこ？ミッチーの南インド料理三昧（淀江プロジェクト第４弾）

第4弾はキッチンや洋室の解体が進む！

２０１８年の年の瀬クリスマスイブの前日に第１弾がスタートした「淀江プロジェクト」。２０１９年１月下旬に第２弾、２０１９年３月下旬に第３弾を実施して、片付けから解体へとフェーズが進んでいった。その２か月後の２０１９年５月24日午後～26日午前の２泊３日で、淀江プロジェクト第４弾を実施。実質丸２日間で、解体の続きが行われた。総勢８名で、キッチンにあったレンジ台やシンク、冷蔵庫や棚などもすべて撤去・移動させて、キッチンと物入（米蔵）の壁を取っ払い、台所・物入（米蔵）・食堂（リビングダイニング）・洋室の４つのエリアが一つに繋がった。

第３弾まで来てくれていた６名

- ■**しょうきち（野崎将太）**さん
- ■**翔太郎（宮原翔太郎）**さん
- ■**ハブッチ（羽渕 正樹）**さん
- ■**ゴン（中山 雄一朗）**さん
- ■**もりさと（森田 悟史）**さん
- ■**ゆってぃ（河津優平）**さん

第４弾から参加

- ★鳥取県倉吉市から
- ■**やつだ（八田 公平）**さん（左官）
- ★米子市から
- ■**野口 貴裕** さん

料理担当

- ★大阪府摂津市から
- **ミッチー（西岡 亨洋）**さん

今回は、作業をするメンバーの他に、**ミッチー（西岡 亨洋）**さんも一緒に来てもらった。南インド料理を探究されている**ミッチー**さんにお願いしたミッションは、作業をしてくださる皆さんのご飯を作ること！

ミッチーさんのお陰で、24日（金）夜～26日（日）昼まで、淀江に居ながら、とても美味しい南インド料理・カレー三昧の幸せな日々を過ごすことができた。その料理のクオリティの高さから料理人と思いきや、実は、広告デザインを主としたグラフィックデザイナー、印刷物やWEBサイトの製作ディレクションを本業とされているダブルワーカー。

母屋のキッチンは今回解体して使えなくなったため、**ミッチー**さんの料理を作る作業は全て離れのゲストハウスの小さなキッチンで行われた。食材にこだわった南インド料理の数々にみんなのテンションはMAX！

作業をしてくださった方の他にスペシャルゲストが夕食に駆けつけてくださったり、たまたま寄ってくださって皆さんも一緒に昼食を食べたり、それぞれとても美味しくて楽しい幸せな時間を過ごした。

お面「洋子＆衆」

前回、半分のスペースの床を取り除いていた屋根裏は、メンバーで協議の上、１／３を残すこととなり、床を取り外した部分を支えていた柱なども取り除いて、作業完了。開放感が増した。最後はきれいに掃除して、作業完了。

いつの間にか、１月の片付け第２弾のときに皆が見つけて保管してくれていたお面（洋子と衆が図工の授業の時に作った）が壁面に飾られていた。皆から「洋子＆衆」と名付けられたお面は、あたかも以前から飾ってあったかのような守り神の様相を見せている。

今回もとても素敵な出逢いがたくさんあり、そして今まで同じくとても素晴らしい段取りとコンビネーションであっという間に作業が進んで行った。

次回は７月に、裏庭のウッドデッキ製作、キッチンのフローリング貼りなど作っていくフェーズを実施することが決まり、洋子はワクワクしながら、大阪への帰路へついた。

―第十五話に続く―

作者：田中 洋子
㈱ウォリス 代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてUターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語［第14話］

淀江の宿 今津田中家 瓦版

第15号

2024.06発行

徳川家光の時代から続く「よいとまかせ」

淀江町にある**日吉神社**では、毎年5月3日に、江戸時代の寛永14年（1637年）以前から380年以上続いている神幸神事「**よいとまかせ**」が行われます。山車・神輿を中心に、それぞれの衣装をまとった約200人もの氏子が行列となって町内を練り歩き、人々の健康や安全、作物の豊作等の幸福を祈願します。今津田中家のオーナー 田中洋子が住む「**今津**集落（現97戸）」は、「**箒引（ほうきびき）**」の役割を担っており、毎年2名が行列に参加します。これは家の並びでの持ち回りで、今年は田中家に約50年ぶりに番が回ってきて、名古屋に住む洋子の弟 **衆**が**箒引**をさせていただきました。

「よいとまかせ」は、「神輿渡御」（みこしどぎょ＝神輿に移られた神様がお出かけされるという意味）の行事で、かつては**大山**と**日吉神社**、または**日御碕神社**（現在の**壺瓶山**にある神社）と**日吉神社**との間で行なわれたともいわれています。

江戸時代には中断・復興が繰り返され、また明治24年の淀江大火で神事の道具が焼失しましたが、氏子によって再興されるなどの変遷を経て、現在の行列は大正15年に再編成された順番で並んでいます。この行列は、社寺奉行を中心としたグループ、神輿を中心とした2つのグループの3つに分けることができ、中心部分が神輿であるという点で大名行列と違います。県下唯一の「神輿渡御」である**「よいとまかせ」**は、**米子市**の無形民俗文化財として指定されています。

社寺奉行御供回りの奉行は陣笠、陣羽織姿で、張り子の馬を腰につけ、馬子を従え、掛け声とともに奴（やっこ）が一無すつ舞っている間、前後に動き、奴の指揮を執ります。「えんよーいやな、えんよいとまかせ、さささ、さあよいとまかせ」の掛け声の意味は「よい世の中だな、よい世になりますように、さあもっとよい世になりますように」といわれています。

10時から例大祭を行い、13時30分御神体を移す儀式のあと、14時に**日吉神社を**出発し、行列は14時から17時30分頃まで続きます。旧道から県道172号を経て9号線（淀江交差点）に出た後、第一区公民館前の道から中道を通り、川を渡り、旧道に戻って17時半ごろ**日吉神社**に戻り、御神体を戻して終了となります。

日吉神社神幸祭行列順序

			担当地区	
1	杖払	（つゆばらい）		保田・福井
2	箒引	（ほうきびき）		今津
3	大鳥毛	（おおとりげ）	（元町）	一区
4	社寺奉行御供廻り	（しゃじぶぎょうおともまわり）	（長町）	二区
5	鉄砲組	（てっぽうぐみ）	（北浜町）	二区
6	子ども神輿	（こどもみこし）		今津
7	社名旗	（しゃめいき）	（灘中町）	五区ノ二
8	猿田彦命	（さるたひこのみこと）	（本町四丁目）	三区ノ一
9	大幣	（おおべい）	（前田町）	四区ノ二
10	真榊	（まさかき）	（本町三丁目）	四区ノ一
11	日月像幡	（にちげつしょうはん）	（本町二丁目）	五区ノ一
12	道神楽	（みちかぐら）	（駄倉町）	十区ノ一
13	神輿	（みこし）	（五軒屋町）	十一区
14	神職	（しんしょく）		
15	宇豆女命	（うずめのみこと）	（東横町）	八区
16	四神旗	（ししんき）	（本町一丁目）	六区ノ一
17	五色旗	（ごしきき）	（西横町）	八区
18	真榊	（まさかき）	（西小路町）	三区ノ二
19	五色幟	（ごしきのぼり）	（川向町）	九区
20	随神	（ずいじん）	（御屋敷町）	六区ノ二
21	金幣	（きんぺい）	（河原町）	七区
	奉幣	（ほうへい）	（風呂屋小路町）	七区
22	道神楽	（みちかぐら）	（堀町）	八区
23	神輿	（みこし）	（浜町）	十一区
24	神職	（しんしょく）		

淀江の宿 今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=

ホームページ　お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL：0859-30-3889
www.imazutanakaya.com

今後は LINE を始め各種 SNS にて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。

LINE公式アカウント
お店のポイントが貯まる！

日替わり店長カフェ紹介

「要予約」ではないお店の場合でもご予約は可能です。申込フォーム・お電話などでお問合せ・お申し込みください。

5/28(火)～6/16(日) 要予約

大豆・黒豆・小豆植え体験

植え付け風景と発芽した大豆

この期間で大豆・黒豆・小豆を植えます。
発芽などの経過を観察し、枝豆の収穫期、大豆の収穫期にもぜひお越しください。

下記の 3 日間は、大豆植えを体験した後、自家製大豆を使った昼食（豆腐・豆花・おからサラダなど）を一緒に作って食べます。

5 月 28 日（火）・6 月 1 日（土）・15 日（土）
10:00～13:00
参加費：2,200 円（中学生以下 1,100 円）
（自家製大豆を使った昼食付、収穫期には枝豆・大豆・小豆・黒豆をプレゼント）

味噌作り

収穫した豆

※上記 3 日以外の期間中は随時、大豆植えをやっておりますので、大豆植えを体験してみたい方は、応募フォームにてご希望日時をお知らせください。

収穫後は、豆腐作りワークショップ、味噌づくり（黒豆・小豆なども活用）ワークショップなども行います。

農業・漁業のアドバイザー

山中 文男 さん

今津在住。牛を飼い、はで掛米を作り、海に潜り、しめ縄を綯うこの地の生き神様。「みやすいことだけん」が口癖で、とても気さくで腰が軽く、作物の植え方や育て方等様々なアドバイスやレクチャをしてくださる頼れる存在。

6/23(日) 11:30 - 14:30

すまいるびとsanin

数量限定

すまいるびとsanin のランチ は「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米にすまいるびとsanin 仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶 & 甘酒ボウル。ドリンクメニューとして、ノンカフェインのオリジナル野草茶の他に、梅酵素茶と生姜ゆず茶もご用意しています。いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験ついてます♡

- おむすび＆お味噌汁セット ¥1,000
  ミニスイーツ付き ¥1,300
- 甘酒ボウル＆野草茶セット ¥1,000
- ドリンクメニューはいずれも ¥500

6/8(土)・6/25(火) 14:00 - 17:00

淀江の宿今津田中家

数量限定

14 時～ 17 時まで、自家製黒豆や米などを使ったスイーツ＆ドリンク、珈琲・ラテなどを提供します。

- ラテ（HOT･ICE） ￥550
- 黒豆スイーツ（豆花等） ￥220～
- 各種ドリンク（紅茶・ハーブティー等） ￥440 ～

「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQ は 4 名～12 名 で個別のご予約を承ります。詳細は WEB サイト等でご確認ください。

お得な特典たくさん！

淀江の宿今津田中家 2024 年度会員募集

年会費		
	継続会員	2,000 円
	新規会員	3,000 円

瓦版継続発行を応援してくださる会員の皆様を募集しています。
お得な会員特典も！ご協力よろしくお願いいたします。

お申込みフォーム

会員特典

- **瓦版の送付** 継続会員：瓦版 13 号～ 24 号 新規会員：瓦版 1 号～ 24 号
- **お米 1 升**（約 1.5 kg）**プレゼント**（きぬむすめ or もち米）
  - ・新米ご希望の方は 2024 年 11 月以降
  - ・お米は基本当宿にてお渡し（郵送料別途）
  - ・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券 1,000 円分プレゼント
- 毎月 1 回 **各種 10% 割引券**
  （飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加）
- **瓦版 2 周年イベント**（2025 年 3 月開催予定）**無料参加！**

今回の神幸祭行列の様子

参道に JR の踏切がある日吉神社

神前で待機する社寺奉行御供廻り

「箒引」で道を清める洋子の弟 衆

奴（やっこ）役に初めて女性も参加

張子の馬を付け指揮を執る奉行

沿道の人々の頭を撫でる奴（やっこ）

無病息災を願い氏子の頭を噛む獅子

休憩所の中西パンで一休み

猿田彦命（さるたひこのみこと）

日月像幡（にちげつしょうはん）

演奏しながら進む「道神楽」

御神体が一時的に鎮まる神輿

17 時 15 分頃 中道から旧道へ戻る

今回は**箒引**のお役目があったため、13時に**日吉神社**の社務所に集合し、弟の**衆**は**「箒引」**の衣装に着替え、14時の出発まで待機しました。義妹と姪、そして娘の**萌々子**と私（洋子）の4人は、参道にある踏切（JR山陰本線）を渡り、階段を上って、ご神前に進んで拝礼し、行列の開始を待ちました。**平井鳥取県知事・伊木米子市長**・報道関係者など多くの方も来られていました。

14時に神前で**「よいとまかせ」**の掛け声が高らかに響き、行列がスタートしました。今年は人口減少による担い手不足のため、これまで男性だけだった奴（やっこ）役に初めて女性の参加があったそうです。

今回、私たち4人は、14時～17時半まで、行列にずっと付いて回り、**「よいとまかせ」**の概要を体感することができました。その間、行列に参加したり、見学したりしている小中時代の同級生や知人とも多く出逢い、道中、いろんな話をしながら、楽しい時間を過ごすことが出来ました。**「よいとまかせ」**の知見を深め、来年以降は、ツーリストの皆様をお迎えして、一緒に体感できればと思っています。